



2019年3月期 決算説明会

株式会社 **アイチ** コーポレーション

2019年6月4日 (火)

I. 会社概要

II. 決算

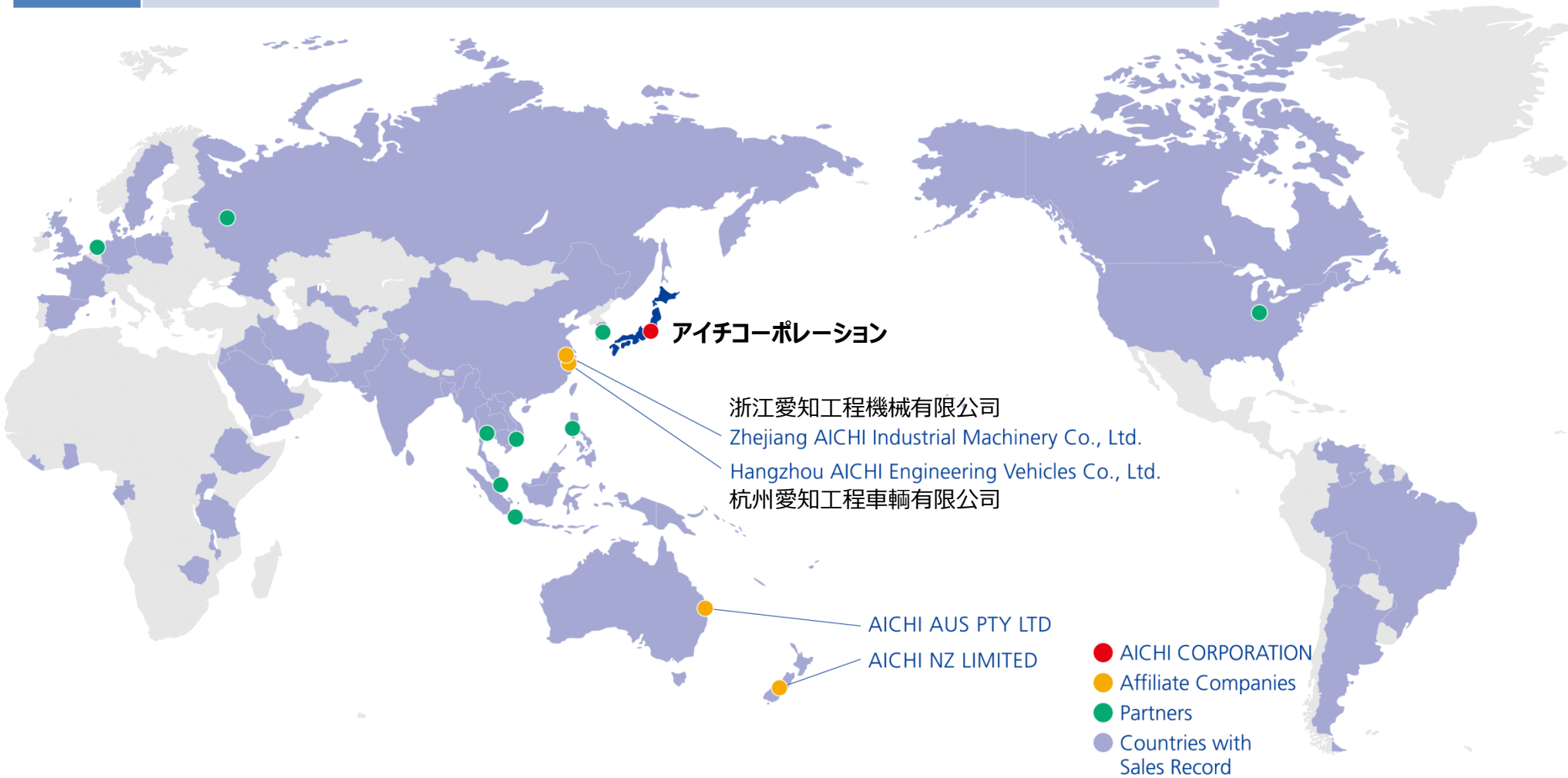
1. 18年度の業績
2. 19年度の業績見通し

III. 中期経営計画

1. めざす姿
2. 中期経営計画達成に向けた取り組み

- 【創立】** 1962年2月2日
- 【代表者】** 代表取締役社長 三浦 治
- 【本社】** 埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10
- 【支店】** 6支店（宮城県、埼玉県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県）
- 【工場】** 4工場（国内2工場、海外2工場）
- 【事業内容】** 電力・電気・電話・通信工事用機械化車両、及び
建設・荷役・造船・鉄道用等工事用機械化車両の製造・販売
- 【資本金】** 10,425百万円
- 【株式】** 発行済 79百万株、株主数 8,845人（2019年3月末）
- 【大株主】** 株式会社豊田自動織機（52%）
- 【売上高】** 61,838百万円（18年度）
- 【従業員数】** 連結 1,130人 単独 1,000人（2019年3月末）
- 【関係会社】** 子会社3社、関連会社1社

開発	本社（埼玉県上尾市）
生産	日本：新治工場、伊勢崎工場 中国：浙江愛知工程機械有限公司、杭州愛知工程車輛有限公司



トラックマウント式

電力業界向け

通信業界向け

レンタル業界向け

SH15C
活線作業タイプ



KU10A
ケーブル総合工事車



SH10C



SJ30A



SK12C



SF77B
橋梁点検作業車



TZ10C

小型自走式

自走式

軌陸車

SSL

レンタル業界向け

造船業界向け

鉄道業界向け



RM05C
パーティカル
タイプ



SV06E
シザース
タイプ



SR12C
ブーム自走 (クローラ)



SP21C
ブーム自走 (ホイール)



LZ10K
軌陸両用高所作業車



5SDK
スキッドステアローダー

◇新治工場 (群馬県利根郡みなかみ町)



設立 : 1985年
内容 : トラックマウント式・自走式の組立・部品加工
敷地面積 : 17.2万㎡ 従業員 : 約280名 (2019年3月末)

◇伊勢崎工場 (群馬県伊勢崎市)



設立 : 1978年
内容 : 小型自走式の組立・部品加工
敷地面積 : 3.3万㎡ 従業員 : 約90名 (2019年3月末)

◇ 浙江愛知工程機械有限公司 (中国浙江省杭州市)



設立 : 2008年
資本金 : 1,500万USD (当社100%出資)
内容 : 小型自走式高所作業車の生産、販売、サービス
敷地面積 : 5万㎡ 従業員 : 約120名 (2019年3月末)

◇ 杭州愛知工程車輛有限公司 (中国浙江省杭州市)



設立 : 1995年
資本金 : 1,000万USD (当社 50%出資)
内容 : トラックマウント式高所作業車の設計、生産、販売、サービス
敷地面積 : 3.2万㎡ 従業員 : 約200名 (2019年3月末)

I. 会社概要

II. 決算

1. 18年度の業績

2. 19年度の業績見通し

III. 中期経営計画

1. めざす姿

2. 中期経営計画達成に向けた取り組み

18年度の業績



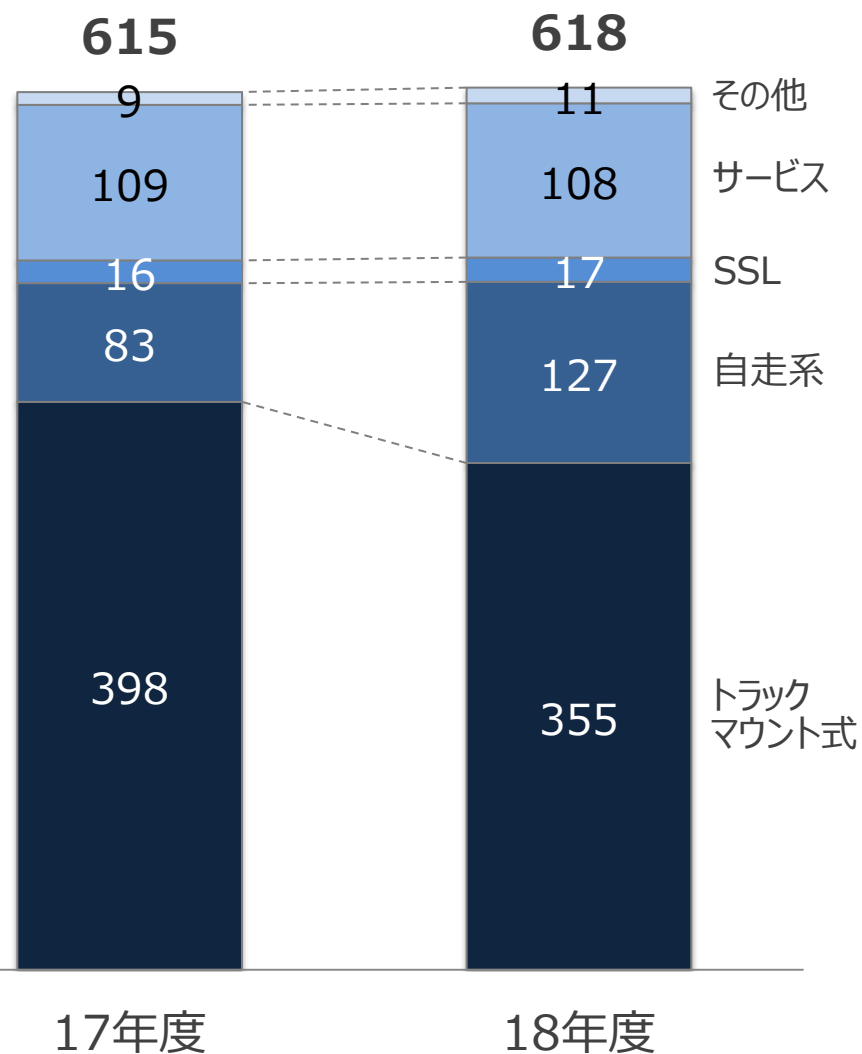
(単位：億円)

	17年度		18年度		増減率
	金額	%	金額	%	
売上高	614.7	100.0%	618.4	100.0%	0.6%
営業利益	75.8	12.3%	70.0	11.3%	▲7.6%
経常利益	83.3	13.6%	73.9	12.0%	▲11.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	57.9	9.4%	55.3	8.9%	▲4.5%
1株当たり配当金	中間	11円	中間	11円	
	期末	11円	期末	11円	
	年間	22円	年間	22円	
為替レート (USD)	110.1円		110.7円		
設備投資額	8億円		11億円		※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。
減価償却費	22億円		19億円		

[]内は2018年6月公表値

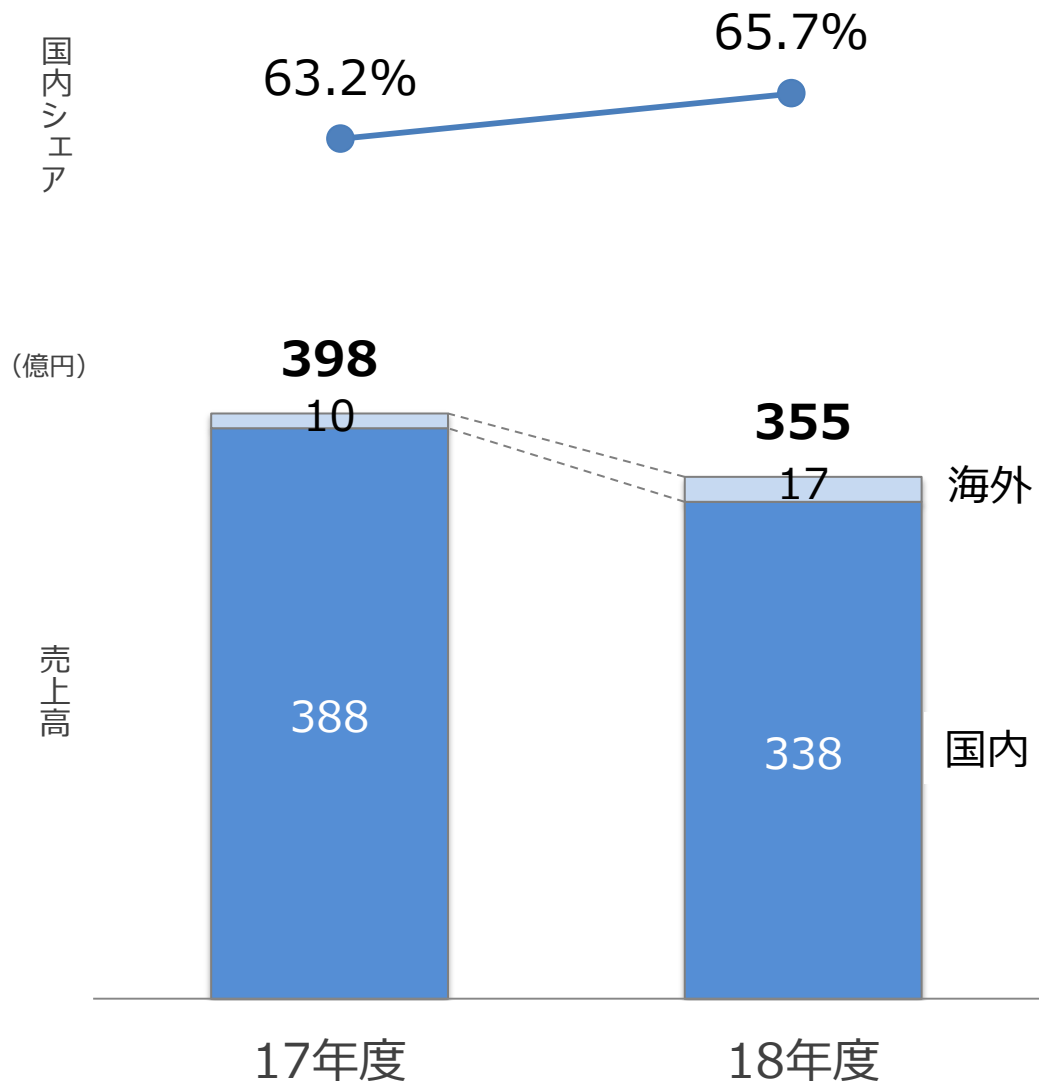
セグメント別売上高

(億円)

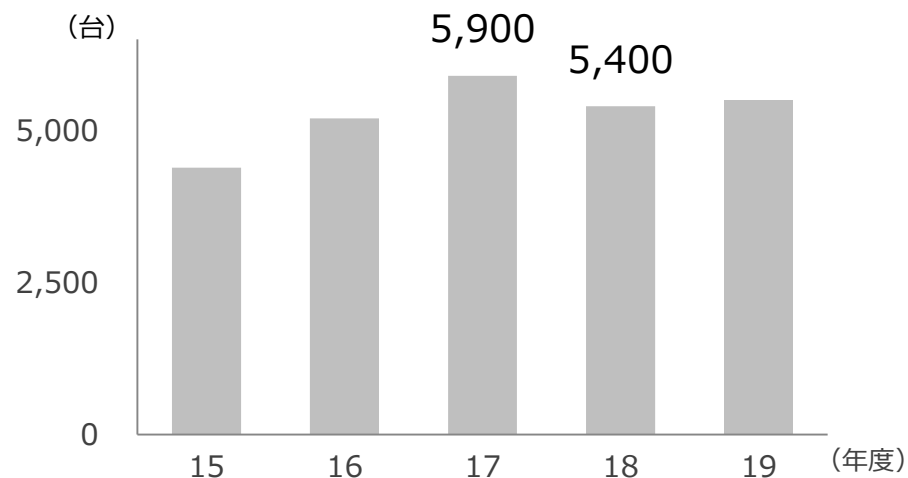


(単位：億円)

	17年度		18年度		増減額
	金額	%	金額	%	
トラックマウント式	398	64.7%	355	57.4%	▲ 43
内) 海外	10	1.6%	17	2.8%	7
自走系	83	13.5%	127	20.6%	44
内) 海外	18	2.9%	19	3.1%	1
SSL	16	2.6%	17	2.8%	1
サービス	109	17.7%	108	17.5%	▲ 1
内) 海外	4	0.7%	4	0.6%	0
その他	9	1.5%	11	1.8%	2
内) 海外	1	0.2%	4	0.6%	3
合計	615	100%	618	100%	3
内) 海外	33	5.4%	44	7.1%	11



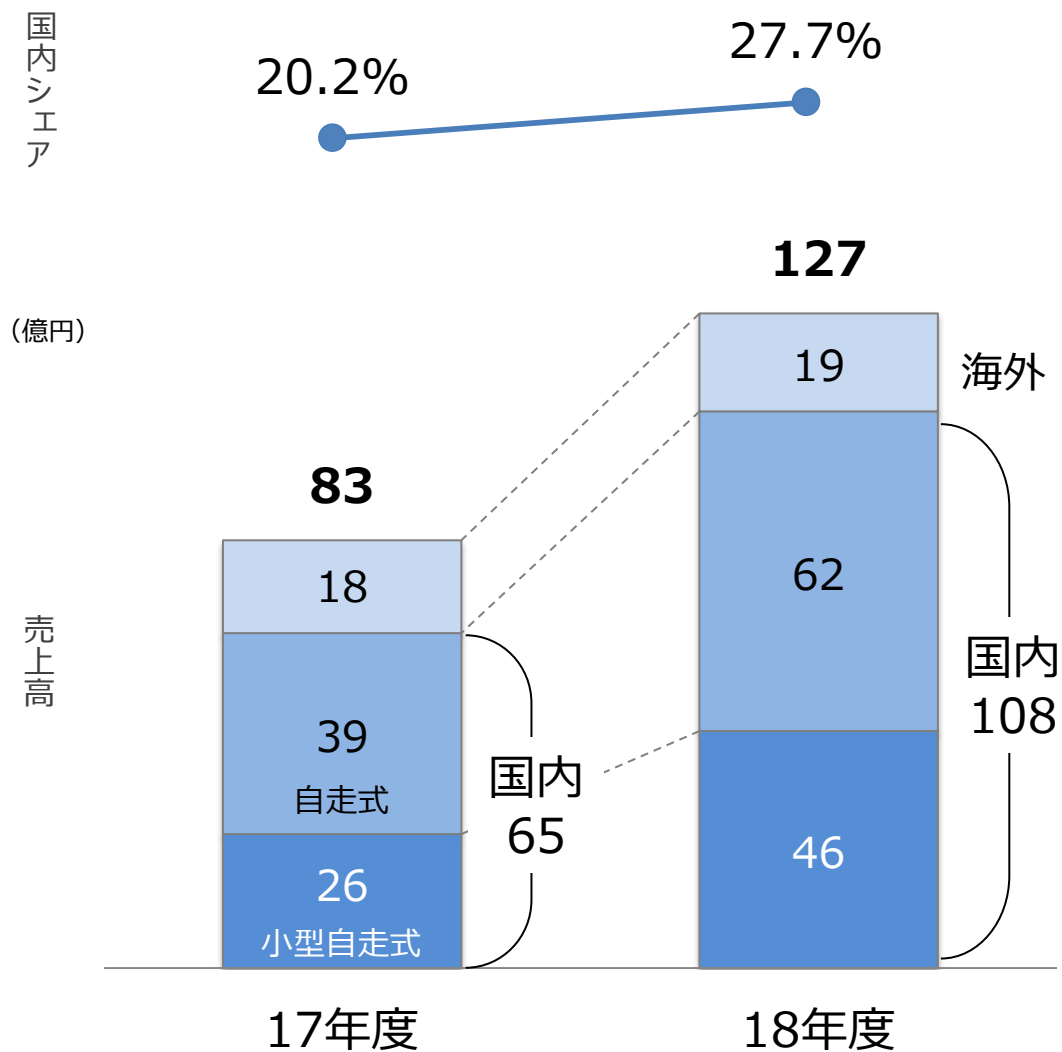
国内総需要推移



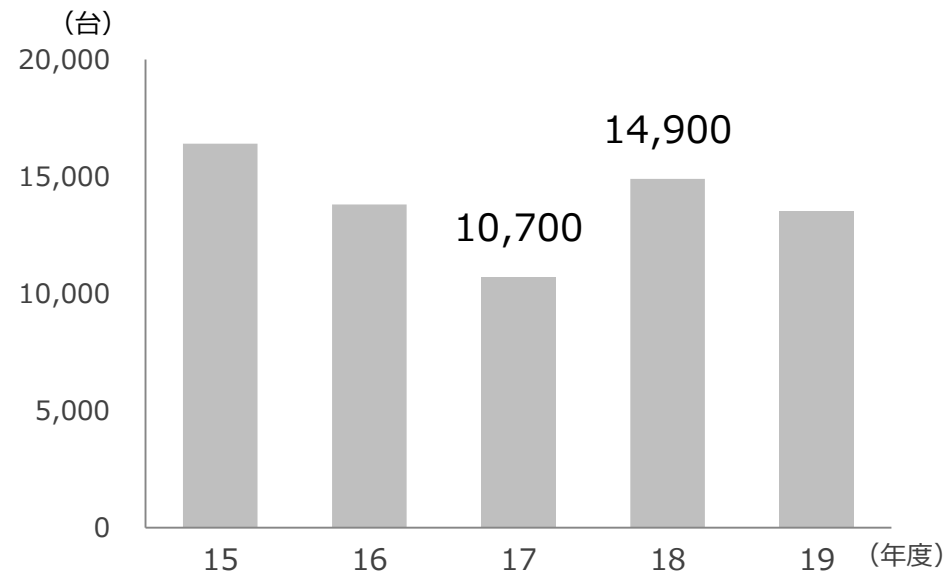
業界別販売台数・比率

(単位：台)

業界	17年度		18年度	
	販売台数	比率	販売台数	比率
レンタル	1,470	38%	1,620	44%
電力	730	19%	670	18%
汎機	400	10%	430	12%
通信	1,100	28%	850	23%
鉄道	110	3%	5	0%
海外	70	2%	110	3%
合計	3,880	100%	3,685	100%



国内総需要推移



業界別販売台数・比率

(単位：台)

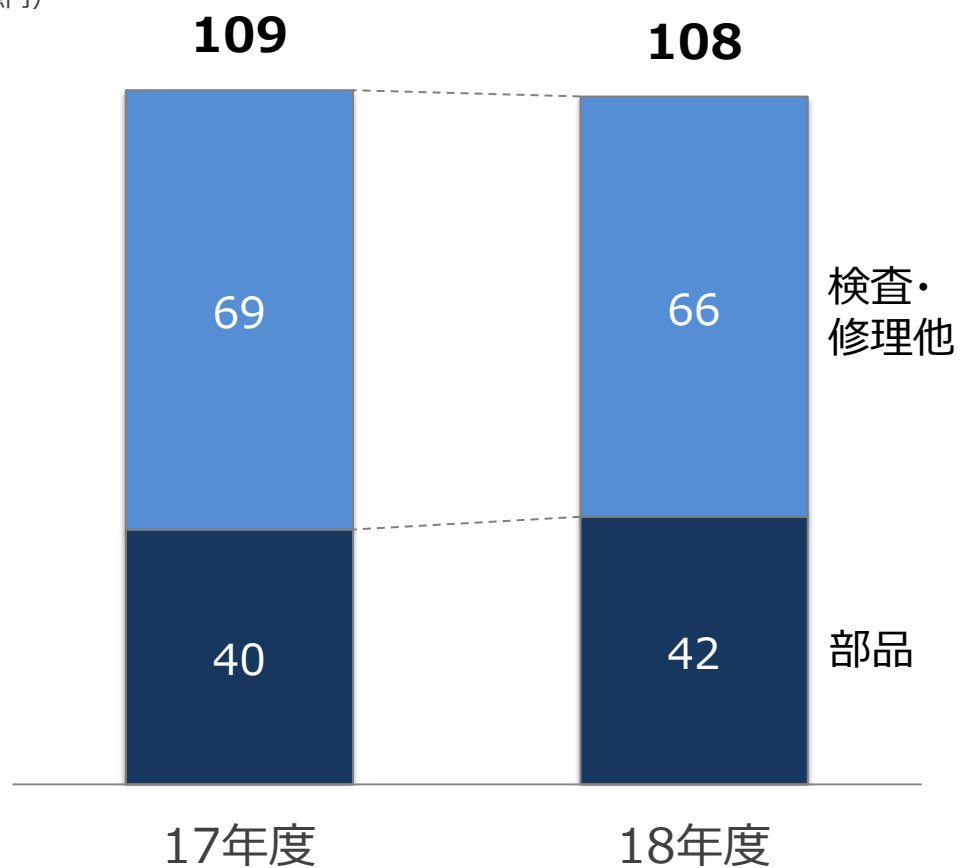
業界	17年度		18年度	
	販売台数	比率	販売台数	比率
レンタル	2,000	77%	3,930	75%
汎機	150	6%	215	4%
海外	450	17%	1,120	21%
合計	2,600	100%	5,265	100%

■ 売上区分別比率

(単位：億円)

売上区分	17年度		18年度	
	売上高	比率	売上高	比率
検査・修理他	69	63%	66	61%
部品	40	37%	42	39%
合計	109	100%	108	100%

(億円)



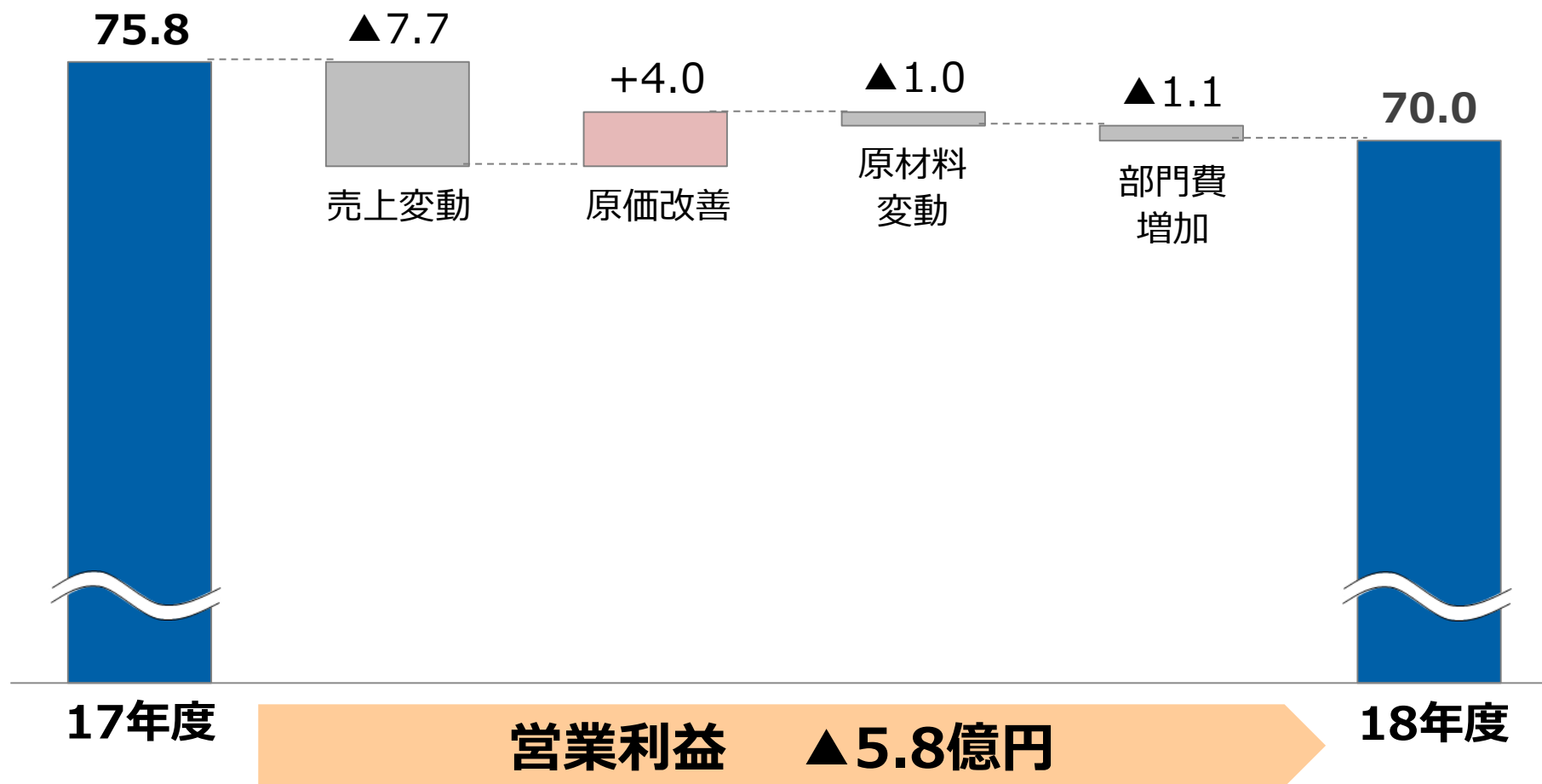
■ 対前年同期比較

(単位：億円)

	17年度		18年度		増減額
	金額	%	金額	%	
売上高	614.7	100.0%	618.4	100.0%	3.7
売上原価	472.2	76.8%	478.3	77.3%	6.1
売上総利益	142.5	23.2%	140.1	22.7%	▲ 2.4
販管費	66.7	10.9%	70.1	11.3%	3.4
営業利益	75.8	12.3%	70.0	11.3%	▲ 5.8
営業外収益	7.7	1.3%	4.0	0.6%	▲ 3.7
営業外費用	0.1	0.0%	0.0	0.0%	▲ 0.1
経常利益	83.3	13.6%	73.9	12.0%	▲ 9.4
特別損益	▲ 0.8	▲ 0.1%	3.8	0.6%	4.6
法人税等	24.6	4.0%	22.5	3.6%	▲ 2.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	57.9	9.4%	55.3	8.9%	▲ 2.6

■ 連結営業利益の増減要因

(単位：億円)



■ 対前年同期比較

(単位：億円)

		17年度末		18年度末		増減額
		残高	比率	残高	比率	
資産 の 部	現金及び預金、預け金	263	32.6%	257	30.4%	▲ 6
	売上債権	200	24.8%	242	28.6%	42
	その他	35	4.3%	50	5.9%	15
	流動資産	498	61.7%	549	64.9%	51
	固定資産	309	38.3%	297	35.1%	▲ 12
	合計	807	100.0%	846	100.0%	39
負債 ・ 純 資 産 の 部	仕入債務	93	11.5%	103	12.2%	10
	その他	50	6.2%	46	5.4%	▲ 4
	流動負債	143	17.7%	149	17.6%	6
	固定負債	54	6.7%	44	5.2%	▲ 10
	負債 合計	197	24.4%	193	22.9%	▲ 4
	純資産 合計	610	75.6%	653	77.1%	43
合計	807	100.0%	846	100.0%	39	

19年度の業績見通し



■ 対前年同期比較

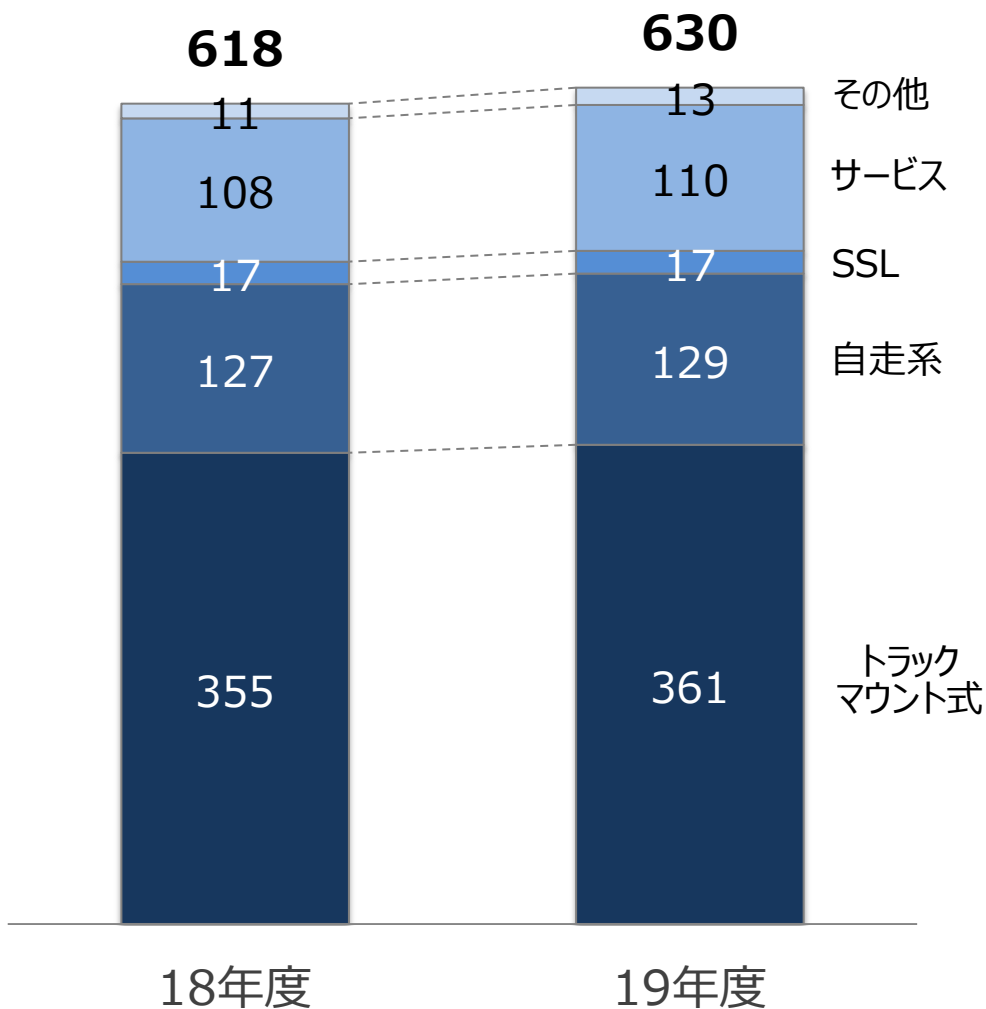
(単位：億円)

	18年度		19年度		増減率
	金額	%	金額	%	
売上高	618.4	100.0%	630.0	100.0%	1.9%
営業利益	70.0	11.3%	73.0	11.6%	4.3%
経常利益	73.9	12.0%	75.0	11.9%	1.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	55.3	8.9%	53.0	8.4%	▲4.1%
1株当たり配当金	中間	11円	中間(予想)	11円	
	期末	11円	期末(予想)	11円	
	年間	22円	年間(予想)	22円	
為替レート (USD)		110.7円		110円	
設備投資額		11億円		20億円	※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。
減価償却費		19億円		19億円	

19年度の業績見通し

■セグメント別売上高

(億円)

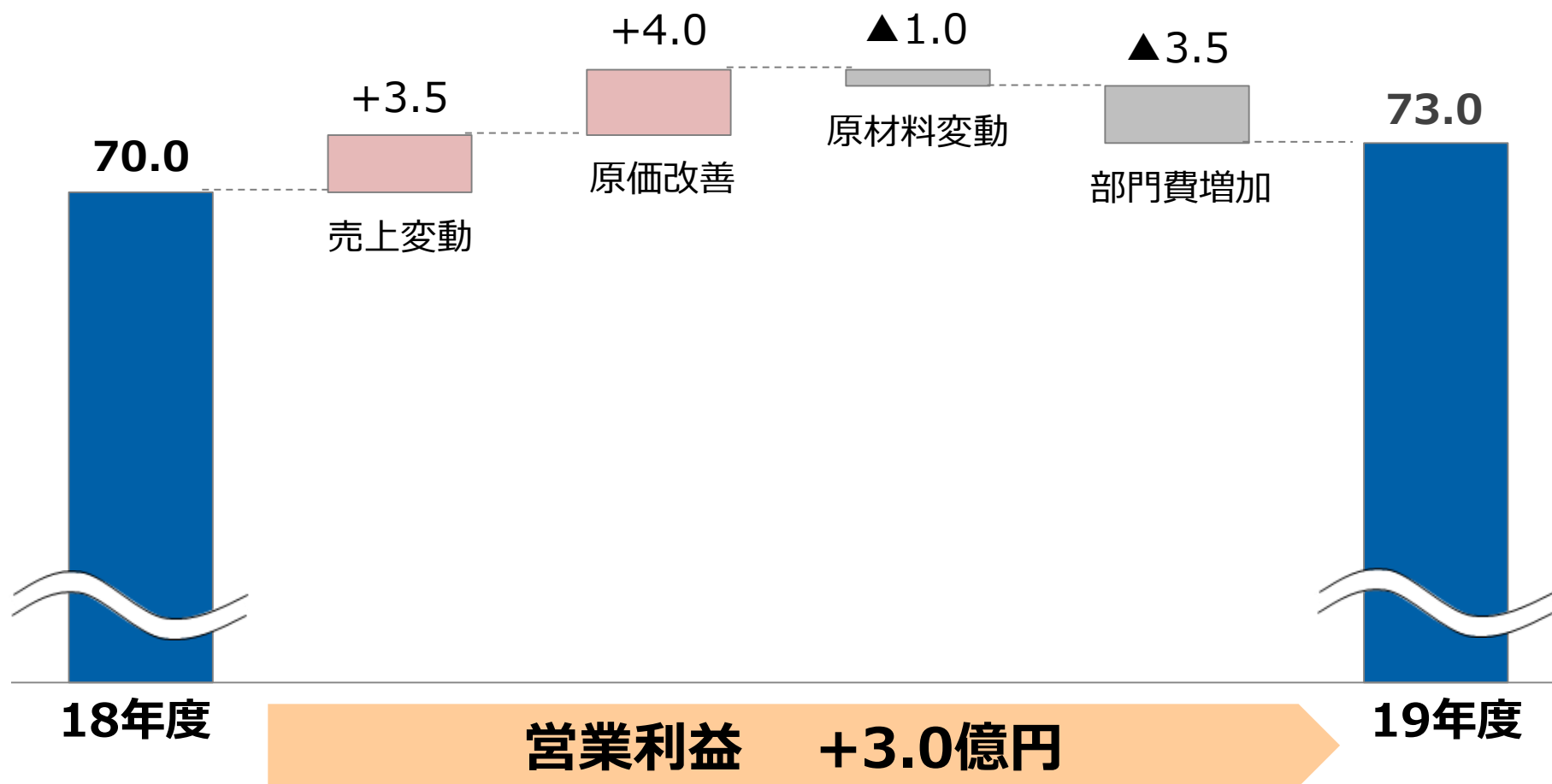


(単位：億円)

	18年度		19年度		増減額
	金額	%	金額	%	
トラックマウント式	355	57.4%	361	57.3%	6
内) 海外	17	2.8%	18	2.9%	1
自走系	127	20.6%	129	20.5%	2
内) 海外	19	3.1%	22	3.5%	3
SSL	17	2.8%	17	2.7%	0
サービス	108	17.5%	110	17.5%	2
内) 海外	4	0.6%	4	0.6%	0
その他	11	1.8%	13	2.1%	2
内) 海外	4	0.6%	6	1.0%	2
合計	618	100%	630	100%	12
内) 海外	44	7.1%	50	7.9%	6

■ 連結営業利益の増減要因

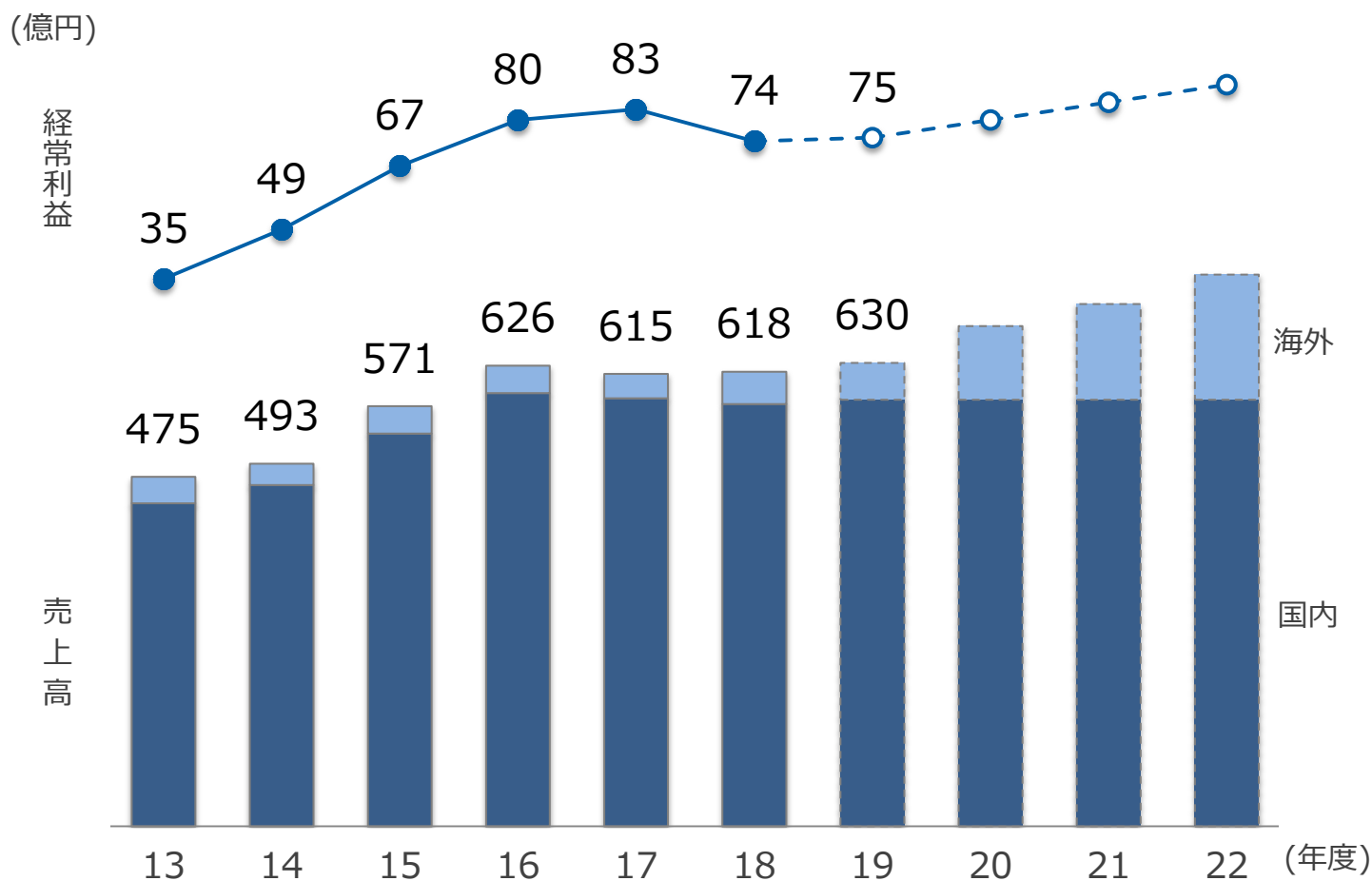
(単位：億円)



- I. 会社概要
- II. 決算
 - 1. 18年度の業績
 - 2. 19年度の業績見通し
- III. 中期経営計画
 - 1. めざす姿
 - 2. 中期経営計画達成に向けた取り組み

めざす姿

世界市場での高所作業車メーカーとしての確固たる地位の確立



2018年

2022年

2025年

新規投資事業

[技術提携・M&Aを視野に入れた事業展開]

新市場への参入
高所作業に付随した商品開発

グローバル展開

[地域別戦略]

商品ラインナップ充実、トヨタL&Fとのシナジー

コア領域

[他社との差別化]

国内市場での売上維持

アジア市場での売上拡大



安全性と生産性を追求した 配電工事向け15m級高所作業車を発売

*2019年5月7日

<商品の特長>

- 無段階アウトリガーを実現
- 車両前方の作業範囲拡大
- マルチインフォメーションディスプレイ採用
- ノーテールブームを実現

SH15C1FS



SN15C1FS



鉄道工事向け高所作業車のラインナップ強化（排ガス規制対応モデル）



バケットタイプ



デッキタイプ

拡大する北米市場向けに 4m/5m級 バーチカルマスト を発売 (12ft/16ft)

*2019年4月

<商品の特長>

- ACモーターによる長時間駆動
- 高速走行性能の確保
- 拡張デッキによる作業範囲の拡大



WM1630J

TMHU (Toyota Material Handling USA) HPより

欧州市場向けに

12m/14m級 自走式高所作業車を投入

<商品の特長>

- コンパクトな車体と広い作業範囲の実現
⇒ 14m級で唯一の3段伸縮ブーム
- 高い品質/耐久性の踏襲



この配布資料に記述されている、弊社の予想、見通しは、現在入手可能な情報から得られた弊社の経営者の判断に基づいています。

従って、この業績予想に全面的に依拠することはお控え頂きたく、お願い申し上げます。

また、これらの数字に関しては、様々なリスクや不確実性により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

ここでのリスクや不確実性とは、弊社を取り巻く経済情勢、お客様環境、競合環境、関連法律・法規、為替レートの変動などが含まれます。

ただし、業績に与え得る要因はこれに限定されるものではありません。